



輝く女性へ

大湊村男女共同参画社会推進委員会委員長

大湊村では、女性達が、野菜作りや加工品づくりなど、消費者への直接販売を通じて経営の多角化を目指す、「6次産業化」の取り組みにおいて、重要な役割を果たしています。

政府では、「国連ナイロビ将来戦略勧告」で提示された、30%の目標数値や諸外国の状況を踏まえて、「202030」という数字を掲げました。「2020年までに、あらゆる分野で、指導的地位に占める女性の割合を30%にする」という政府の目標が明記され、各分野での取り組みを推進することとしています。

構成人数の30%を少数派が占めると、意思決定に影響を持つようになるという理論があります。政府はこの目標を画餅に帰すことなく！?とにかく、国は30%というところで、ピンをさしています。その達成を目指して、様々な取り組みをしていただきたいと思います。

女性の積極的参画として、ポジティブアクションなどの多様な手法の一つとして、クォータ制等の導入など、今後の検討として不可欠なことで考えられます。クォータ制は、「一定の人数や割合を割り当てることによって、指導的地位に就く女性等の数値に関する枠などを設定すること」です。特に選挙制度の在りかたとして、女性の政治参画等に重要な論点として考慮する必要があると思われれます。

11月には「女性を地方議会へ、in東北2015」が「市川房枝記念会」の女性の参政70周年記念事業として、秋田で開催されます。

女性が政策決定の場にいるということは、とても重要かつ大切なことであると考えます。

下記は4月の統一地方選挙の結果です。

	立候補者	うち女性	当選者	うち女性
知事	25	4	10	1
政令市長	17	3	5	0
市長	179	13	89	4
区長	32	2	11	0
町村長	199	3	122	0

☆ この結果をどう思われますか？

「男女共同参画勉強会に参加して」

男女共同参画の会に参加して数年になりますが、男女共同参画というと、随分幅も広く、又深く、社会生活を営んでいく上において、すべてのことに係わることが男女共同参画であり、大変難しい持論であると思います。入会して数年ですが、今はまだ、自分が何に心を込めて、参画活動をしているのか、つかみ取れていませんが、人生の後半、少しでも世の中に参加お手伝いできればと思い、勉強しているところです。

ところで、今回アトリオンにおいて「秋田県の少子化と男女共同参画について」という課題で勉強会があり、参加してまいりました。課題の副題として、「女性の働き方」「少子化を見すえた社会」という課題が提供され、意見交換、グループワーク、発表、という形で会が開かれ、私達のグループでは、「少子化を見すえた社会」ということについて、7人のグループで話し合いました。つまり、秋田県の少子化は、「なぜ」ということから入り、色々な意見が活発に出されました。秋田県においての少子化は、経済的問題が原因であり、儲かっている会社は、従業員に儲けを分配すべき等と、ユニークな意見も出たり、又、秋田県は、少子化とともに高齢化も大きな問題であり、親の高齢化介護の為、子供達は結婚に踏み切れないこと、このことにより、晩婚にもなり産めないこと等が原因であったり、又、子供に高額の教育費を出し、大変な思いで県外で教育を受けさせた結果、そのまま戻って来ないという、つまり賃金の低さが、そうさせる、このような要因が山積みしている中で、この状況を打開していく為にはどうしたら良いかということを考えなければならないのでは、というのが、この会の主旨であるが、とても難しい問題が話し合われました。

一人一人それぞれ色々な意見を持っていますが、ここでは男女共同参画の意識について認識していけるような話が出来た気がしました。

北欧では、30年かけて女性も男性も平等に役割分担をさせたということで、日本では、男女共同参画運動を始めて十数年しかたっていないのですが、男女格差問題で、先進国中最下位であるという結果が出ているそうです。もっと頑張り良い方向に進んでいければと思います。

ちなみに、わが国では、良妻賢母は求められるが、良夫賢父という言葉はあるかということ、ないそうです。女性が子育てについて、第二子は、夫の協力の基で産むか産まないかは、決まるということもあるのだそうです。とにかく、子供がいても結婚していても働き続けたいという女性達の為にも、又、自分自身が輝く為にも、働くことが必要であると思うし、女性が生活しやすい社会を作っていくことに、国や地方行政、財界も、もっと係わっていくことにより、少子化問題も変わっていくのではと思いました。

男女共同参画推進チーム

初めてのコンバイン

大湊村男女共同参画推進チームでは、女性を対象に、草刈機講習会・軽トラデビュー（軽トラ運転練習）を25年度におこないました。

そのときコンバインの運転がしてみたい、との若い女性からの要望にお応えし、平成26年7月17日、18日、JA農機具展示会会場で、JA大湊村整備課のご協力をいただき、各メーカーのコンバインに試乗させていただきました。

参加者は10名。農機具展示会会場が華やかな雰囲気になりました。

<感想>

コンバイン初体験させていただき、ありがとうございました。

各メーカー担当の方々に、優しく丁寧に教えていただき、とても良い体験になりました。

各メーカーで、機能や性能が違うので、説明していただく内容はどれも興味深く、大変勉強になりました。

少しでも秋作業に役立てられればと思っています。

どうもありがとうございました。

西 3-4 木須 裕佳理

<感想>

コンバイン体験で、初めて自分で乗って動かしてみました。

操作の手順と共に、稲がどの様にコンバインに通って行くかを改めて見ることができて、有意義な時間になったと思います。

機械も日々進化していて、いろいろな便利な機能や工夫があることを知ることが出来ました。

とても勉強になりました。企画をどうもありがとうございました。

西 3-4 川崎 あかね



これからの講座のお知らせ

☆10月31日(土)

日本女性会議2016 in 秋田市 プレイベント
分科会 「女性の活躍による企業力アップセミナー」
場所： アルヴェ

☆11月7日(土)～8日(日)

女性を地方議会へ in 東北 2015
場所： アトリオン 中央男女共同参画センター

☆11月14日(土)

「もっと知りたい私のカラダ」全国キャラバン
場所： アトリオン ハーモニープラザ7階

☆11月15日(日)

ハーモニープラザまつり 2015
場所： アトリオン イベント広場

☆12月

男女共同参画社会づくり基礎講座
場所： 五城目町

時間をみつけて、自分磨きをしましょう！

大潟村男女共同参画推進チーム会員募集！

大潟村男女共同参画推進チームとは、住民が主体となって、男女共同参画を推進するため、自主的に活動する団体です。

会員それぞれが、出来る範囲で活動していただいています。

どなたでも参加可能ですので、興味のある方はお問い合わせください。

【申込 & 問合せ】

三村敏子 (TEL 22-4177) 役場住民生活課 (TEL 45-2114)

～編集後記～

☆各記事についてのお問い合わせはこちらへ☆

大潟村役場住民生活課 TEL 0185-45-2114 FAX 0185-45-2162